事業所通信No. 106

特定非営利活動法人はちくりうす
東京都目黒区鷹番3-14-9
Tel：03-3793-3012
Fax：03-5856-6700
E-mail：office@8curious.or.jp
https://www.facebook.com/8curious
編集担当：島田　宏

5月12日　日香国際交流会@あいアイ館

香港の学生さんたちとお互いの活動について紹介しあう形での交流会を行い、学生さん14名、ヘルパー8名、職員も合わせ総勢29名が参加をしました。

★香港の学生さん達のプレゼンテーション

スライドも発表も全編英語だったので、事前に用意したハンドアウト+通訳として来てくれたニコルスさんが、学生さん達ともその場でやりとりをしながら詳細に通訳してくださいました。ヘルパーの平野さん、職員のマルクスはじめ、英語でコミュニケーションのとれるグローバルな人がはちくりうすになぜか揃っていたおかげで、なんとか交流することができました。。。ありがとうございます！

香港政府からの公的な支援は充実しているとは言えず、様々なNGOが寄付金や助成をもとに活動をしていること、個別のニーズをもつ子どもへの教育・療育の現状、彼らが実際に体験した活動の一部（LDのお子さんへの宿題のサポート、就労支援の場でのジョブトレーニング、親御さんが働いていて休日のサポートが受けられない子どもへのデイケア）等を紹介してくれました。

質疑応答の時間にいちばん盛り上がったのは、日本ではインクルーシブ教育と呼ばれ、香港ではIntegrated educationと呼ばれている統合教育の話題です。香港では、基本的に障害のある子どもも、健常児と同じクラスで学ぶことになっていて（盲ろうで特別な関わりが必要な子にはその学校はある）、その子のニーズにあわせて支援員が追加で配置されたり、親御さんの希望で障害児を対象に特別支援を行う学校を選択することはあるものの、基本的には「ともに育つ」文化があるそうです。学校の側ではなく、親御さんの方の意向が優先されるとのこと。

3月２日、一通の英文のメールが事務所に届きました。誰もがジャンクメールと思って、即ゴミ箱にドラッグしようとしたとき、英語の達人マルクスが「これってはちくりうすに交流を申し込んできているメールですよ。」と発言。急遽、連絡を取り合い今回の国際交流が実現できました。学校の名前は『The Hong Kong Institute of Education（香港教育学院）』日本の障害者問題を学びに来ました。

行政サービスは日本のほうが進んでいる部分もあるかもしれませんが、差別を生み出さない仕組みとして「ともに育つ」を実現している点では、香港のほうが進んでいると言えるかもしれません。

★交流会後のフリータイム

軽食をつまみながら、自由に交流する時間を設けました。通訳の3人にたくさん助けてもらったのはもちろん、それぞれに簡単な単語や文、ボディーランゲージで直接学生さん達とコミュニケーションを取ろうとしている姿が印象的でした。なかなか普段はこんな形で外国の方と交流をする機会はもてていないので、勇気をもってはちくりうすにアタックしてくれた学生さん達に感謝ですね（Yahoo!検索で探し出してくれたそう）。
今後もこんな機会があったらいいなぁ・・・！　（佐藤）

感想などははちくりうすの facebook でも読むことがでことができます

5月17日　みんなで潮干狩りに行きました

こんにちは、はちくりうすのマルクスです。

5月17日(日曜日)香港の学生さん、かきのたねスタッフ、はちくりうすの利用者さん、スタッフ、計41名で八景島『海の公園』へ潮干狩りに行ってきました！参加された皆さま本当にお疲れ様でした。そしてご協力ありがとうございます。

めちゃめちゃ、楽しかったなぁ～やはり、「The more, the merrier」（人が多ければ多いほど楽しい）(笑)。利用者さんは男性5名、女性2名の参加でしたが、すぐに学生さんたちと仲良しになりました。

当日は参加人数が多かったので、２つのグループに分かれて、都立大学駅グループ&学芸大学駅グループとなり、横浜駅中央口の『赤い靴はいてた女の子』像で待ち合わせをしました。　横浜駅ではさっそく定番の崎陽軒のシューマイ店でお弁当をゲット。17日は崎陽軒の売り上げが上がったと思います(笑)。ところで香港の学生さんたちにシュウマイ弁当はどうだったのかなぁ・・・。

17日は晴天に恵まれ絶好の潮干狩り日和、前日が雨でしたのでほっとしました。

『海の公園柴口』駅から海まではほんのちょっと。さっそく浜辺にシートを敷いて、潮干狩りをスタート。海用の車椅子を借りて海へ。海用の車椅子があるなんて、はじめて知りました。とても便利ですね。車椅子の方も海の中に入る事、健常者と同じように潮干狩りを楽しまれました。一時間ほど貝を採ったあと、みんなで海を見ながらお弁当を食べました。みんなで一緒に食事する事はすごく良かったです。ご飯が美味しいか美味しくないかではなく理由が分からないのですが、一緒に食べる人が居るだけで、ご飯が美味しくなった気がしました。海の景色も良かったと思います。ランチの後、あまり小さい貝は海に戻す事にしました。早く大きくなってね・・・。

その後、アクティビティーの第2部として参加者の自己紹介からスタート。学生さん達が用意してくれたゲームにみんなで参加してとても楽しい時間でした。全部で３種類のゲームを用意してくれましたが、利用者さんに合わせたゲームで、ルールが分かりやすく、やり方も簡単ですごく楽しめました。賞品があったり、歌ったり、踊ったり、言葉の壁があるはずなのにとても楽しい時間でした。

昼を過ぎて砂浜はとても暑くなってきたので涼しい木の下に移動、水分補給も忘れずに、休憩をしました。休憩後、今度は森の中で楽しいゲームをみんなでしました。ゲームの最後にプレゼント交換をしました。プレゼントってやはり、値段とか大きさではないですね、気持ちですね。どんな高級なものを貰っても気持ちがはいってなければ、偽物と変わりません。はちくりうすからは島村さんの手作りの可愛いストラップを香港の学生さんにプレゼント、こちらには香港の綺麗な街並みのポストカードに手書きのコメントを添えて頂きました。いつかまた、会えたらいいですね。

言葉の壁が有っても香港の学生さんも日本人も一生懸命話しかけて笑顔でコミュニケーションを取っていましたね。分からなくてもジェスチャー、スキンシップ、ハートで話すことで交流ができていた事がとても、感動的でした。私はとても楽しい一日でした。利用者さんたちも楽しい時間を過ごされたと思います。いつかまたやりたい なと思っています。ぜひご参加下さい。

マルクス

平成22年4月から介護の世界に入職。
認知症対応型のグループホームで管理者、計画作成担当者として平成27年2月まで職務に就く。
現場の業務も平行して携わり、自分らしく尊厳のあるシルバーライフをサポート。認知症の方々との共同生活の中で、残存能力を低下させないような自立支援を継続的に提供してきた。

介護の多様性に対応することを目的として、在宅介護、巡回介護、身体介護、障害者への支援などにも挑戦する。

平成23年1月から、はちくりうすの登録ヘルパーとして実務を開始。
平成27年5月から、はちくりうすの職員として就労。サービス提供責任者をやらせていただきます。
経歴は以上となります。

介護の世界に入る前は27年程、スイミングインストラクターをしていました。
よって水泳は得意です。
水泳以外でもサーフィンやスノーボード、釣りなど季節を問わずスポーツは全般的に大好きです。

背伸びをしない、身の丈にマッチした介護と支援を心がけてまいります。
登録ヘルパーと職員では責任の重さが違ってまいりますが、関係者各位のご支援を賜りながら邁進していく所存です。
どうぞよろしくお願いいたします。

6月ヘルパー月例会

■テーマ：１．ストレスフリーを目指して　～ストレス解消法～
２．支援のための情報共有
■日　時：6月17日(水)　10：00～12：00
■場　所：五本木住区センター（中央町2-17-2）

※　あとで出欠確認をしますのでよろしくお願いします！

分かり合える時代

3月に渋谷区議会で同姓でも結婚に相当する関係と認め『パートナーシップ証明』を実施する条例が賛成多数で成立した。条例は男女平等や多様性の尊重を明記し、アパートの入居や、病院の面会など証明書を持つ同姓カップルを夫婦として扱うように求めている。新しい時代に一歩すすんだと思う。ひとは自分と違う考えを持っていたり、違う格好や行動、形をしているものになんとなく嫌悪感を抱く。これが本能なのか長年培われてきたものかわからないが、それを乗り越えて理解しあうことに、とてつもない長い時間とエネルギーを費やす必要がある。ただそうしなければ前にはすすめない。

島田